

第6回 大河津分水路改修事業監理委員会 審議概要の公表について

○開催日： 令和4年12月14日（水） 15：30～16：30

○会場： 信濃川河川事務所 大会議室

○審議概要：

【事業監理】

- これまでの洪水等の突発的な災害を踏まえ、施工上の工夫を行い、事業を進めていることを確認した。
- 令和元年東日本台風に伴う河川整備計画の変更を行い、大河津分水路改修事業計画にも反映し、それを進めていくことを確認した。引き続き適切に事業全体の事業監理に努めてほしい。
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについて、設計段階から施工段階まで活用されている。非常に強力なツールであり、今後の事業推進には、このようなデジタル技術の活用を継続してほしい。

【コスト縮減】

- 事業の円滑な実施や施工上定められた仕様・基準を満足した上で、引き続き掘削土の有効利用を進めるなど、事業全体のコスト縮減に努めてほしい。

【その他】

（安全対策）

- 大河津分水路の機能を維持しながら施工を実施するため、出水に対する工事の安全対策には、高い意識で取り組んでいることを確認した。引き続き安全な工事施工に努めてほしい。

（広報）

- 今年は、大河津分水通水100周年であり、色々な行事を企画、実施するなど、大河津分水路改修事業の意義や役割について、適切に広報を進めていることを確認した。
- これからは、若い人の関心を得るため、SNSの活用なども重視した情報発信をお願いしたい。
- 現場状況の映像配信など、可能な限り、工事進捗の見える化を図ることで、皆さんの関心も高くなると思われる。